

2006/11/18 第3回ステークホルダー会議資料

ステークホルダーアンケート調査 集計結果の説明

なごや循環型社会・しみん提案会議
実行委員会

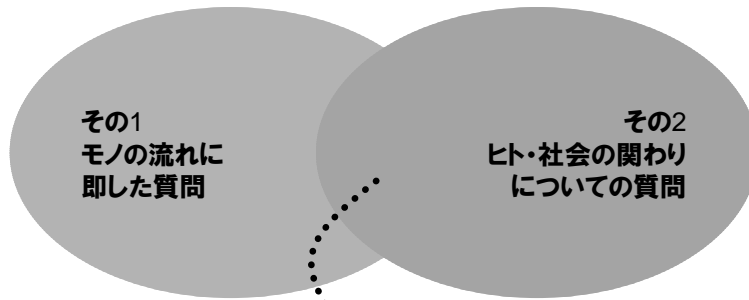
1. 調査票について

(1) 質問の構成

質問は、第2回会議での皆様の意見を基にしています。



質問は2つの区分で構成しました。

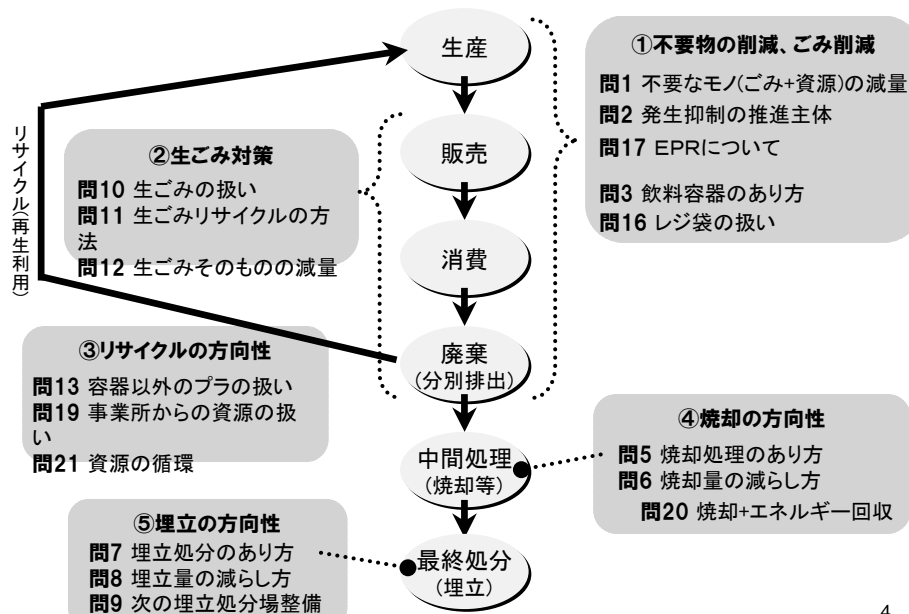


質問のなかには両方に関連するものもあります。

(例: 有料化や啓発によるごみ減量など)

3

(2) 質問その1:モノの流れに即した質問



4

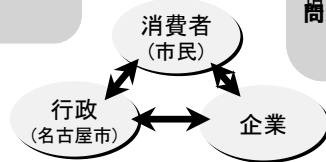
(3) 質問その2:ヒト・社会の関わりについての質問

⑥費用負担、ごみ有料化など

- 問4 非協力者への対策
- 問14 家庭ごみ有料化
- 問15 家庭ごみ有料化の効果
- 問18 得をする仕組み

⑦意思決定、取組みの場、役割分担

- 問22 今後の方針決定の方法
- 問17 EPRについて
- 問23 ごみ処理やリサイクルの役割分担
- 問25 (2) 中高年や退職組の活動の場
- (3) ごみ・環境関連のビジネス・雇用
- (4) 異なる世代の交流の場



⑧教育・人材育成

- 問25 (1) 地域リーダーの育成
- (8) 実践につながる教育・学習
- (9) 大人や企業への教育・学習

⑨情報・コミュニケーション

- 問25 (5) 企業と消費者のコミュニケーション
- (6) ごみ量・コスト・環境負荷の情報
- (7) ごみ減量効果の情報

⑩価値観・ライフスタイル

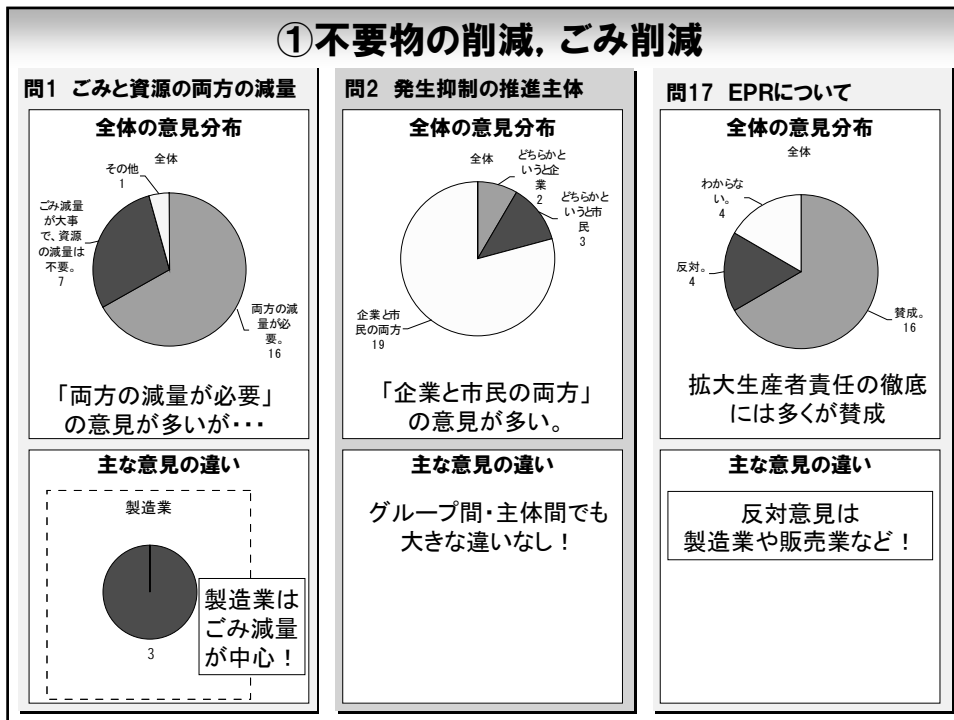
- 問25 (10) 環境に価値をおいた買い物・消費
- (11) 「もったいない」などの考えの普及と実践
- (12) 不要なモノがゼロになる社会像・目標の共有と実践
- (13) スローライフなどの価値観の普及と実践

5

2. 集計結果について

6

①不要物の削減, ごみ削減



①不要物の削減, ごみ削減

ごみ減量で良いか？資源の減量も必要か？

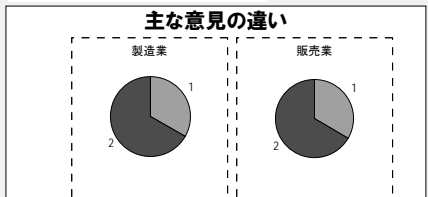
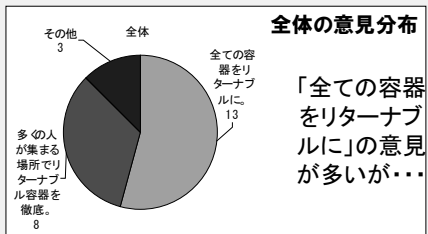
ごみ・資源の減量は、
モノの流れの上流を含めた取組みが不可欠！
(主体間での“考え”の共有は不可欠！)



徹底した議論が必要！

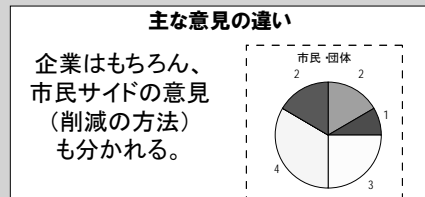
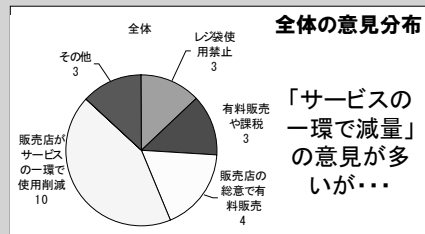
① 不要物の削減, ごみ削減・・・その2

問3 飲料容器のあり方



企業サイドより「場所を限定して」の意見も!

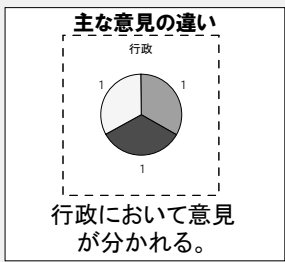
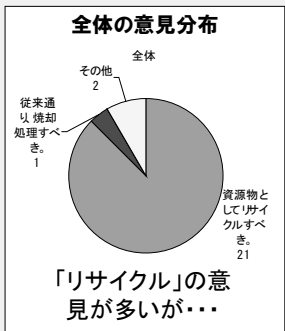
問2 発生抑制の推進主体



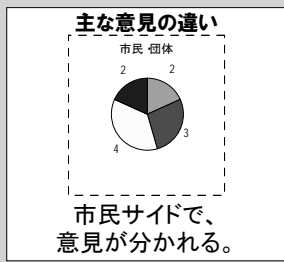
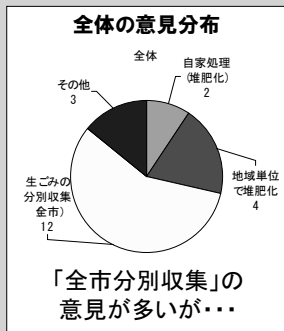
「飲料容器のリターナブル化」や「レジ袋削減」は、多くが賛成
→その方法については意見が分かれる。
それぞれの立場に基づいた議論が必要!

② 生ごみ対策

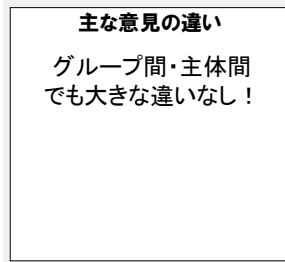
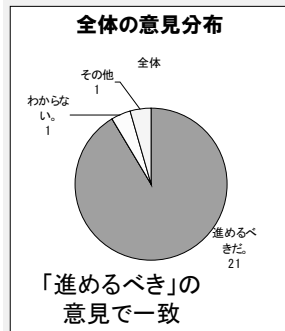
問10 生ごみの扱い



問11 生ごみリサイクルの方法



問12 生ごみそのものの減量



② 生ごみ対策

生ごみそのものの減量は多くが賛成。
 (ばら売りや量り売りなどの適量販売の推進や
 無駄の少ない料理の実践には多くが賛成)

一方、
 生ごみのリサイクル方法は意見が分かれる。



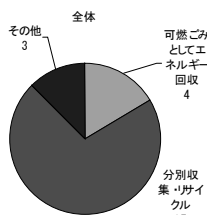
家庭や地域単位での取組みか？
 市全体での取組みか？
 徹底した議論が必要！

11

③ リサイクルの方向性

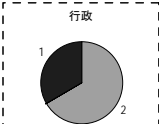
問13 容器以外プラ類の扱い

全体の意見分布



「分別収集・リサイクル」の意見が多いが...

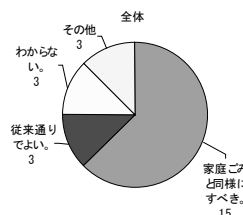
主な意見の違い



行政サイドはエネルギー回収。

問19 事業所からの資源の扱い

全体の意見分布



「家庭ごみと同様に」の意見が多いが...

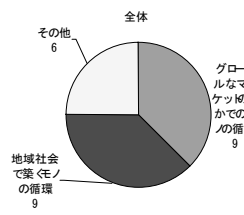
主な意見の違い



Aグループでは「現状のままでよい」の意見も多い。

問21 資源物の循環

全体の意見分布



「グローバルに循環」と「地域社会で循環」が半々

主な意見の違い

「その他」の記述や、付帯意見を見る限り、「グローバル」と「地域社会」を上手く組み合わせるべきと考えるのが妥当。

③リサイクルの方向性

容器以外のプラスチックの
分別収集・リサイクル
の意見多い。

事業所からの資源物についても
家庭ごみと合わせる品目の
中心はプラスチック

(一方、これらは容器包装とは異なり)
なごやとして、
独自のリサイクルルートを創る必要がある。

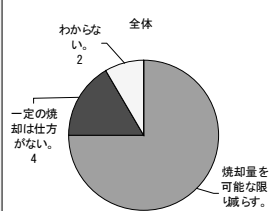
↓
「可燃ごみとしてエネルギー回収」や「現状のままでよい」
といった異なる少数意見の背景も踏まえ、
今後のリサイクルの方向性について議論が必要！

13

④焼却の方向性

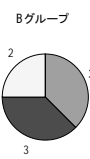
問5 焼却処理のあり方

全体の意見分布



「可能な限り減らす」の
意見が多いが...

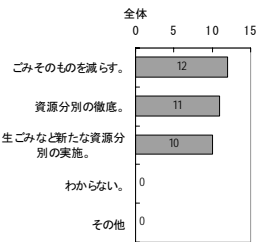
主な意見の違い



Bグループでは
意見が分かれる。

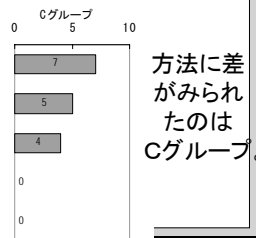
問6 焼却量の減らし方

全体の意見分布



「ごみ減量」と「資源分別」
の意見が同数

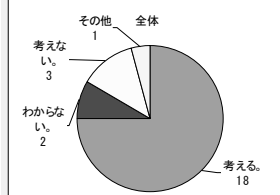
主な意見の違い



方法に差
がみられ
たのは
Cグループ。

問20 焼却+エネルギー回収
を必要機能と考えるか？

全体の意見分布



「考える」の意見が多いが...

主な意見の違い

「最優先にすべきでない」
といった付帯意見も多い。

④焼却の方向性

焼却量を「可能な限り減らすべき」の意見多数。



減らし方の意見は同数。
(ごみそのものの減量, 分別徹底, 新たな資源分別の実施)



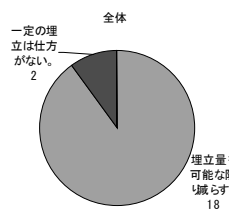
エネルギー回収の優先順位も含めた
焼却処理のあり方の検討を！

15

⑤埋立の方向性

問7 埋立処分のあり方

全体の意見分布



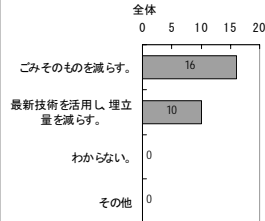
「可能な限り減らす」の意見が多いが...

主な意見の違い

グループ間・主体間でも大きな違いなし！

問8 埋立量の減らし方

全体の意見分布



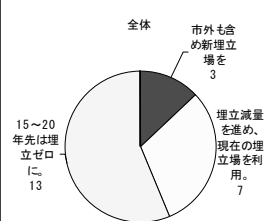
「ごみ減量」が多いが、「技術活用」の意見も

主な意見の違い

グループ間・主体間でも大きな違いなし！

問9 次期埋立場整備について

全体の意見分布



「埋立ゼロ」の意見多いが...

主な意見の違い

⑤埋立の方向性

埋立量を「可能な限り減らすべき」の意見多数。
将来は「埋立ゼロを」の意見も多い。



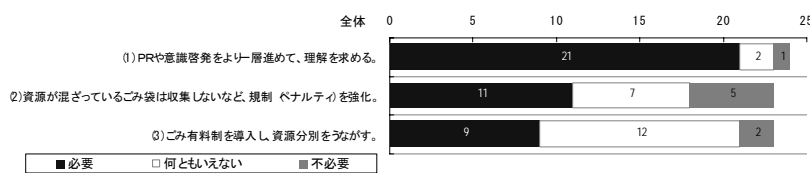
埋立量の“最小化”と“ゼロ”の解釈は？
理想像か？ 実現すべき目標か？
最新技術活用の位置づけは？

17

⑥費用負担, ごみ有料化など

問4 非協力者への対策

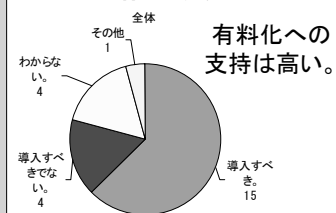
全体の意見分布



ペナルティや有料化でなく、「PRや意識啓発」の意見多いが。

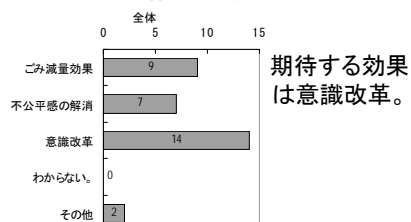
問14 家庭ごみ有料化

全体の意見分布



問15 家庭ごみ有料化の効果

全体の意見分布

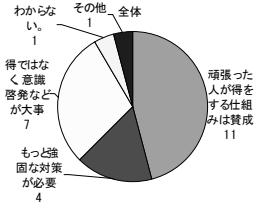


18

⑥費用負担, ごみ有料化など

問18 得をする仕組み

全体の意見分布



「得をする仕組み」は賛否が分かれる...

主な意見の違い

グループ間でも賛否は異なる。

「有料化の是非」のみを問えば導入すべきとの意見多い

↓

一方、非協力者への対策は「有料化」でなく「意識啓発」

↓

さらに「得をする仕組み」に対して、「得ではなく意識啓発を！」の意見も多い

↓

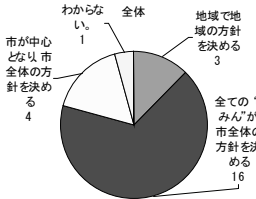
有料化の位置づけは？
“有料”や“得”と意識啓発との関係は？

19

⑦意思決定, 取り組みの場, 役割分担

問22 方針決定の方法

全体の意見分布



「全てのしみが市全体の方針決定」に多くが賛成

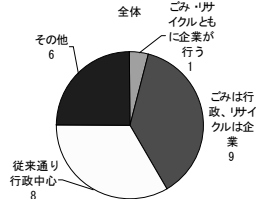
主な意見の違い



Aグループに意見の開きあり

問23 ごみ・リサイクルの役割分担

全体の意見分布



意見が分かれる

主な意見の違い

グループ間でも意見は分かれる。

今後の方針決定については、全ての“しみんで”の意見多い

↓

一方、具体的な役割分担は、従来通り行政主導の意見も多い

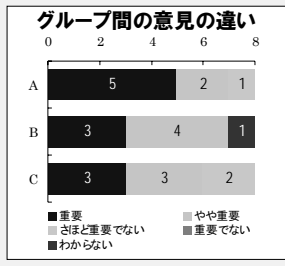
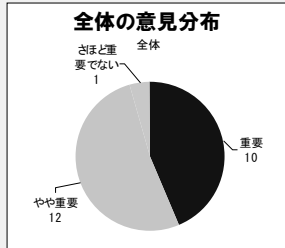
↓

しみんの具体的な役割分担について議論が必要！

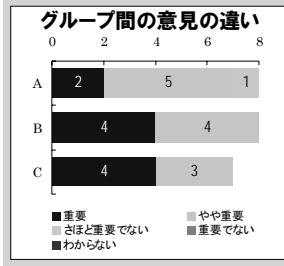
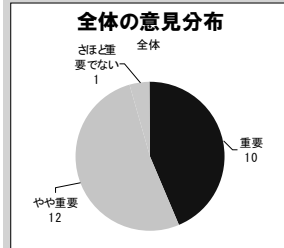
20

⑦意思決定, 取り組みの場, 役割分担

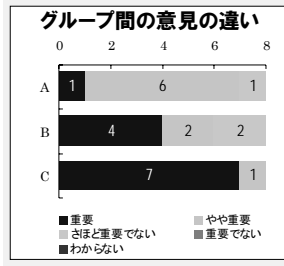
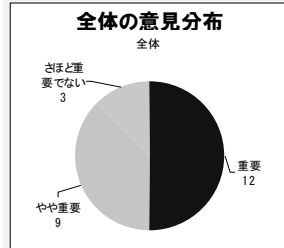
問25(2) 中高年・退職組の活動の場



問25(3) ごみ・環境のビジネス・雇用



問25(4) 異なる世代の交流の場

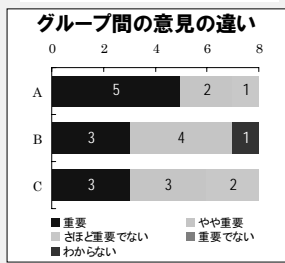
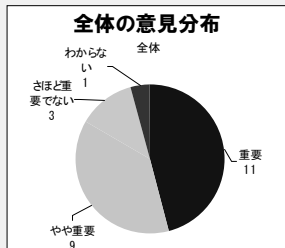


「やや重要」も含めれば、概ね重要度は高い
→ ボランティアからビジネス展開まで、今後の必要となる活動の場とは？

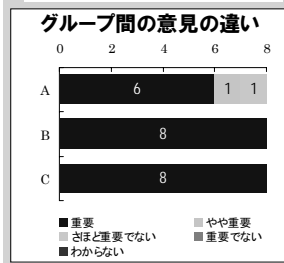
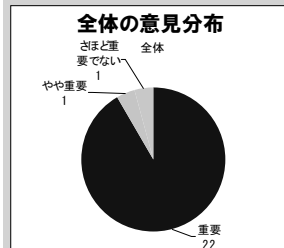
21

⑧教育・人材育成

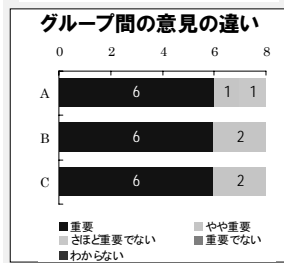
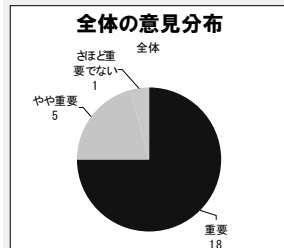
問25(1) 地域リーダーの育成



問25(8) 実践につながる教育・学習



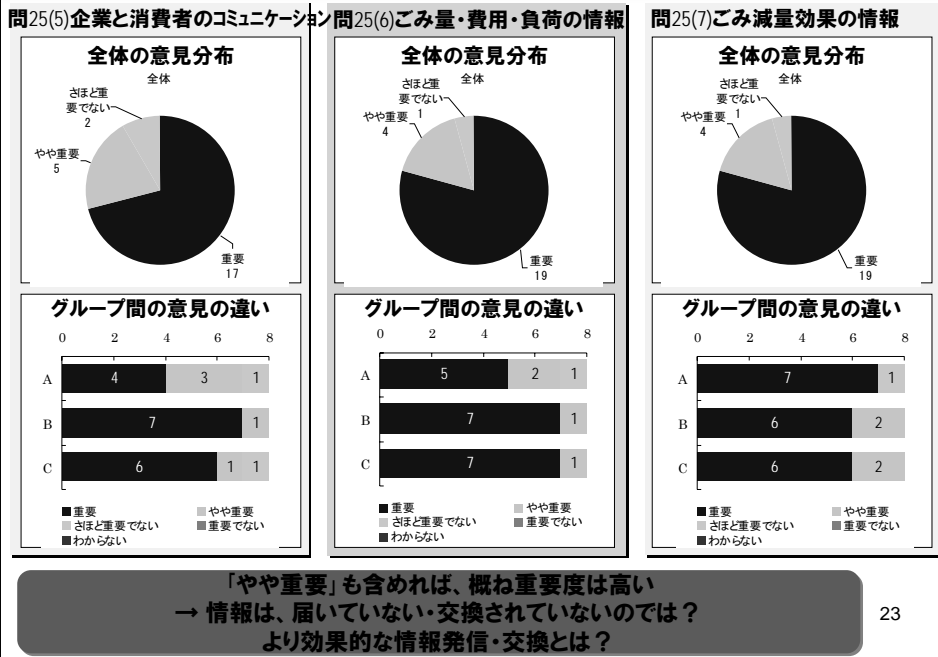
問25(9) 大人や企業への教育・学習



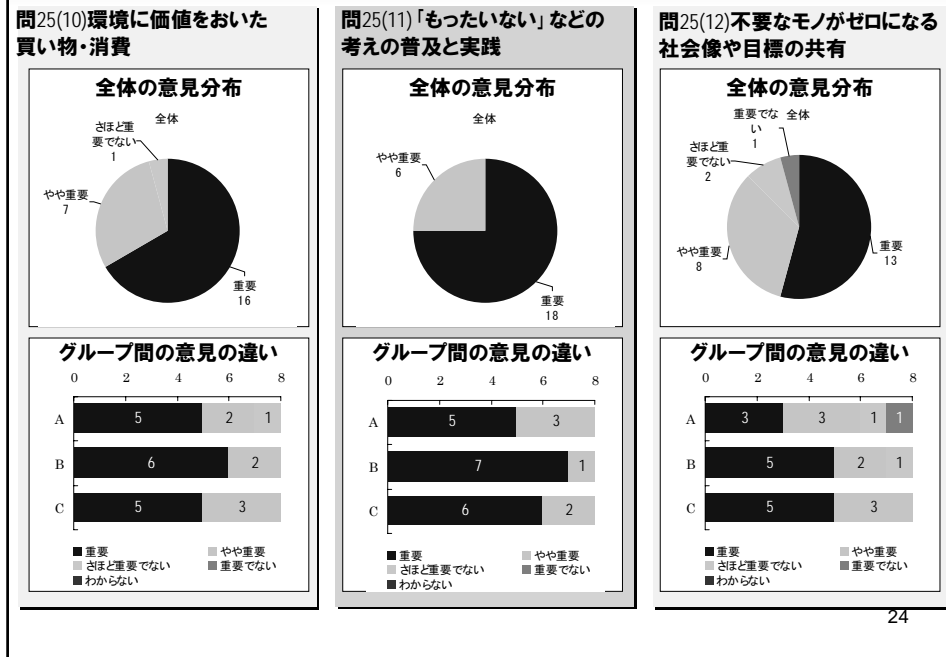
教育・人材育成では「実践につながるような教育・学習」の重要度が高い
→ プログラムや体制を充実させるためのポイントはどこか？

22

⑨情報・コミュニケーション

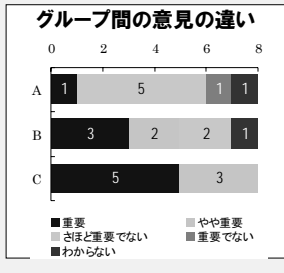
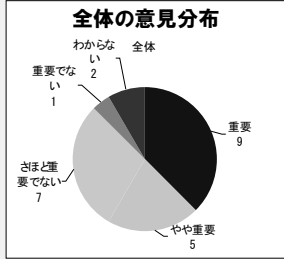


⑩価値観・ライフスタイル



⑩ 価値観・ライフスタイル

問25(13)スローライフなどの価値観の普及と実践



価値観やライフスタイルについては、
一部に、重要度の開きが見られる
↓
なごやで共有すべき価値観とは？
普及・実践のための具体的な方法は？

25